

小児医療センター 看護の日

小児医療センターでは、フローレンスナイチンゲールの生誕日（5月12日）にちなみ制定された「看護の日」に合わせて、5月12日～5月22日の約10日間を「看護週間」として、「看護の日」イベントを開催しました。看護を身近に感じてもらい、看護職への理解を深めることを目的に、2階入口エントランスで「ポスター掲示」と「キッズナーススクラブ着用体験」を行いました。

ポスター掲示のコーナーでは、ジュースに含まれる糖質量、アルコール量に関するポスターの前で足を止めて閲覧する保護者の姿が見受けられました。日頃飲んでいる飲み物に含まれる糖質量の多さに驚かれる様子もありました。

5月18日には、2階入口エントランスで「キッズナーススクラブ着用体験」を実施しました。2階入口エントランスに設置されたキッズナーススクラブ着用エリアで、子どもたちはナーススクラブを着て写真を撮ったり、おもちゃの注射器や聴診器を使って看護師になりきる体験をしました。体験コーナーの開設時間は1時間程度でしたが、診察や会計の合間に10名の子どもたちが参加しました。子どもたちは、おもちゃの注射器や聴診器を用いて、人形や保護者の方に“ちゅくん”や“もしもし”をしながら、楽しそうに看護師になりきる姿が見られました。子どもたちが将来の職業として、看護師を選択するきっかけになることを願い、来年も「看護の日」のイベントを企画したいと思います。

看護の日 イベントの様子

2階エントランス入口の様子です



キッズナース
スクラブ体験エリアの
様子です



あひるさん
もしもしするよ♡

保護者の方も
ポスターの前で
足を止めて糖質量を見ています

